

製品名: CD169 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08248

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	190kDa

抗原情報

遺伝子名	SIGLEC1
別名	SIGLEC1; SN; Sialoadhesin; Sialic acid-binding Ig-like lectin 1; Siglec-1; CD169
遺伝子 ID	6614.0
SwissProt ID	Q9BZZ2
免疫原	抗血清は、ヒト SIGLEC1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1321-1370

背景

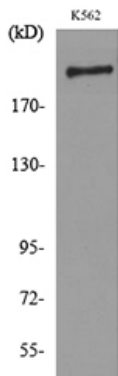
この遺伝子は免疫グロブリンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質はレクチン様接着分

子であり、細胞表面の複合糖質リガンドにシアリン酸依存的に結合します。これはI型膜貫通タンパク質であり、マクロファージのサブピュレーションのみに発現し、細胞間相互作用の媒介に関与しています。選択的スプライシングにより、膜結合型ではなく可溶性のアイソフォームをコードする転写バリエーションが生成されますが、このバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替産物：追加のアイソフォームが存在するようです、機能：マクロファージ特異的接着分子であり、顆粒球、単球、ナチュラルキラー細胞、B細胞、CD8 T細胞などのリンパ球へのシアリン酸依存的な結合を媒介します。α-2,3結合シアリン酸に優先的に結合します（類似性による）。T細胞上のSPN/CD43に結合します（類似性による）。造血において役割を果たす可能性があります。、オンライン情報：Siglec-1、類似性：免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。SIGLEC（シアリン酸結合Ig様レクチン）ファミリー。、類似性：Ig様V型（免疫グロブリン様）ドメインを1つ含みます。、類似性：Ig様C2型（免疫グロブリン様）ドメインを16個含みます。、組織特異性：様々な組織のマクロファージに発現します。脾臓、リンパ節、脳の血管周囲マクロファージに高濃度で存在し、骨髄、肝臓のクッパー細胞、結腸および肺の粘膜固有層には低濃度で存在します。また、関節リウマチの炎症性マクロファージにも発現します。、

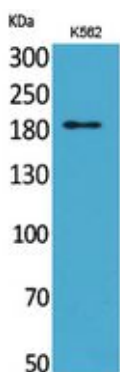
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



SIGLEC1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



CD169 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。